

理研會報

発行
印教研理科学研究部
事務局
成田市立成田小学校
成田市幸町948-1

平成五年度

理科作品展

報出口特集

九月二十一日から二十四日まで、成田市立成田小学校を会場に印旛郡市理科作品展が開催されました。作品総数三百十六点（他に教職員自作教具一点）。ご協力ありがとうございました。

本号では 審査にあたられた先生方からいただきました講評を掲載いたしました。次年度の参考にしていただければと思います。

科学工夫作品の部

内郷小 間宮 哲人先生

く色彩も豊かであつた。

◇中学年の傾向

磁石やモーター、鏡やレンズを
使う作品が多く見られた。

◇高学年の傾向

今年度は、小学校の部に七十六点、中学校の部に十六点の作品が出品された。各部会の審査を通過してきただけあって、さすがに粒がそろつていた。

◇高学年の傾向
使う作品が多く見られた。

◇モーターとスイッチを組合わせる等、より高度な作品が多かった

◇中学校の傾向

◇中学校の傾向

小学校と中学校に分かれて慎重に審査をした結果、小学校十六点、中学校に密着したアイデアを生かした実用的な作品が多い。

ることになった。

◇低学年の傾向

ゴムや風、磁石を使う作品が多

④もう少し指導の手が加えられると良くなりそうな作品も見られた。

工夫工作は、理科学的アイデアだけでなく、技術的な裏付けも必要となる。遊び心のある、授業からの発展的な、ユニークな作品が出品されることを期待したい。

科学論文の部

四街道旭中 加藤弘明先生

理科作品展を振返る

今年も各部会から、小学校百一点、中学校四十八点が出品された多くの労作に目を通すのは楽しみではあるが、百四十九点の中から十点を選びだすのは、正直いつてつらい。結果は別の欄を参照いただくとして、ここでは今年の傾向を概観する。

(小学校)

一、低学年には労作がみられ、質的にはかなり向上がうかがえるが、親の手(?)を感じてしまう。許容範囲を検討すべきであろう。

二、中学年では素材が広がり、バ

三、高学年では、高学年なりの内容がほしい。題材、方法等、指導者の助言が望まれる。

(中学校)

一、内容の質は別として、研究の動機、目的、方法等、まとめ方

が揃い、指導が行き届いている。

、時間をかけ、丹念に記録をとった労作が多い。膨大な記録は貴重だが、考察が不足。

環境、生物、化学分野の研究が多いが、研究の視点が今一步不明確で、まとまりを欠く。物理分野では、数は少ないもののデータもわかりやすく、数学的にすつきりと処理されてよい。

標本の部は小学校六十点、中学校十五点が出品された。力作ぞろい、金賞を選ぶのに苦労するほどであった。作品は今年度も植物・昆虫・貝（化石）・岩石・海藻など様々のものがあつた。

・夏休みの旅行などの機会を生かし、この周辺では見られないものに挑戦しているものがあつたことなどがあげられる。

今後の課題としては、

- ・植物標本で台紙が小さすぎるものがあつたので、大きくして植物全体がはいるようにしてほしいものがあつたこと。

・票本自体はきついものを改多

・ 審査を通して感じたことは、標本数が多く、また、ただ収集するのではなく、きちんと観点を決めているものが多かったこと。

くそろえているのだが、保管のこ
とを考えると容器に一工夫ほしい
ものがあつたこと。
などがあげられる

・植物や昆虫など、標本作成の技術がしつかりしており、丁寧に作られていたこと。

・一年で終わるのでなく、数年にわたる積み重ねのある作品があったこと。

標本の作成は根気が必要であるが、身近な自然に目を向けるには最適の学習でもある。そこで、小学生のうちに一度は挑戦させてみたい学習の一つであると思う。

超科作品展			審査結果		
1.	出品点数	316点(他に教職員自作教具 1点)	2.	入賞者数	55名
3.	入賞作品の部	及び作品名	3.	入賞作品の部	及び作品名
学年	氏名	作品名	学校名	備考	
小1	佐藤 孝太	大空とぶ飛行機	白井小	部	
1	伊藤 健一	まきとうりやうらんちん	八木原小		
1	古川 隆雄	びよんぴんおもちや	八喜野台小	部	
2	関 実明	T&I シナ地区別箱	内中町小		
2	山口 歩人	お散歩人形	富里小		
2	原 大里	ゆうふのお宝	京川小	部	
2	山崎 加奈子	電線結ぶもう	上道里小		
3	矢野 加奈子	風の力だいこ	富里小		
3	朝崎 光一	ちよ金箱	酒々井小		
3	重光 まる子	モーターで動くおもちゃ	酒々井小		
4	川口 亮	非常階段	寒住小		
4	小笠原 由貴子	モーター式サイレン	八木原小		
5	水田 尚志郎	ねことわすみ	八木原小		
5	松本 健太郎	非常ベル	間野台小	部	
6	武蔵 水田 尚志郎	ふみこし	間野台小		
6	佐藤 秀尚	お腹レフ太陽高度計	四里小		
中1	高田 中保	防犯ブザーつき貴重品箱	白井西中		
1	杉本 清真	洗濯洗ひ器	富里小		
3	新井 谷	訪員用機中電行	大山口中	部	
小1	小坂 尚志郎	スポンジ付き手袋	吉妻中		
2	水田 尚志郎	立てかけてもずらないカサ	上茂中		
2	山崎 尚志郎	ビニール袋ホルダー			
2	山崎 尚志郎	ありの研究	四和里小		
2	山崎 尚志郎	ありのかんさつ	二本下第二小	部	
2	山崎 尚志郎	アゲハのよう虫は何がすき	本木小		
3	山崎 尚志郎	朝がおのかりの観察	西宮田小		
4	山崎 尚志郎	へちまの観察	成佐小		
5	山崎 尚志郎	谷津田に住む動物の四季	成佐小		
5	山崎 尚志郎	植物の成長をみる	八喜東小		
6	山崎 尚志郎	川や沼の生き物を導く	八喜合小	部	
6	山崎 尚志郎	自然はほかの生き物に勝っているか	八喜合小		
中2	山崎 尚志郎	蝶への呼び方	井住山中		
2	山崎 尚志郎	マツバオウタンの開花について	井住山中	部	
2	山崎 尚志郎	生物の作り出す緑の性質と特徴	山崎山中		
3	山崎 尚志郎	便い捨てカイロの研究	玉造中	部	
3	山崎 尚志郎	ボールの反発について	木代中		
3	山崎 尚志郎	展持するシャボン玉	千代中		
小1	大野 雅史	あそびができるくさげな	赤富小		
2	大野 雅史	かいそうのひょうはん	酒々井小		
2	大野 雅史	木の葉しらべ	印南道小		
3	大野 雅史	昆蟲採集	楓葉小		
4	大野 雅史	薬草しらべ	木下小		
5	大野 雅史	貝がらの標本	中台小		
5	大野 雅史	トウモロコシの観察	酒々井小		
6	大野 雅史	コケとその周辺の植物	酒々井小		
6	大野 雅史	植物採集	酒々井小		
6	大野 雅史	佐賀県の岩石	酒々井小		
中1	大野 雅史	潭淵山のシダ植物	白井中		
1	大野 雅史	千代田地周辺の種子葉植物と	千代田中		
2	大野 雅史	双子葉植物			
2	大野 雅史	食用ガエルの青枯	成田小		
2	大野 雅史	貝化石の採取	大山口中		

※ 標本は、県展に出品いたしません。備考欄に「郡」とある作品は、県展に出品いたしません。

※ 県展は、10月30日(土)～31日(日)に千葉県総合教育センターにおいて展示(9:30～16:00)されています。

※ 県展に出品した作品の撤出については、11月8日(月)以降、各部会の研究部長先生におたずねください。